

浄化槽 とやま

平成31年1月

2019
No. 85

(雄山)

(一ノ越)

(室堂山荘)

目次

- ・年頭のご挨拶
- ・理事会／委員会
- ・浄化槽関係要望（県知事・市町村長）
- ・普及活動
- ・講習会
- ・青年部会活動
- ・国 新年度予算案（浄化槽関係）
- ・全浄連／教育センター／東海北陸ブロック協議会
- ・お知らせ



年頭のご挨拶

公益社団法人富山県浄化槽協会
会長 上田 勝朗

平成31年の新春にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平成最後のお正月、いつもの年より気持ち的に大きな節目を感じています。雪もなく、いつもより長い休日を過ごされた方も多いと思いますが、インフルエンザが大きく流行し始めています。基本は健康です。食事、睡眠に防御として「うがい・手洗い」だと思います。

昨年6月に一般社団法人全国浄化槽団体連合会の会長に就任しました。こんなこともあるのかと私が一番驚いています。いつも思うのですが、これまでいろいろな役職を務めてきましたが、いつもまわりに強力なスタッフが揃います。この半年、私は思いを語っているだけですが、これまでになく意見が飛び交い、組織が活気付き、疑問に思っていた課題が改善の方向に進んでいます。

また、富山県浄化槽協会の会長として5年目の後半に入り、振り返ってみると、やり残しを感じています。特に、法定検査の受検率向上については、もう少し時間がかかるとは思いますが、向上できていない理由が少し見えてきたと思います。もうひとつ大きなこととして事務局の移転問題があります。昭和61年に事務所移転を理事会で検討し、4カ所の現場も視察しましたが、移転はできませんでした。問題は、事務局と水質検査室が離れていることに加え、その賃貸料だけでなく検査車や職員の駐車場の料金も高いことです。富山の一等地にいないかならぬのかということで理事会でも協議しましたが、将来を考え適当なところがあれば移転する方向です。今後、事務局の充実を目的として、浄化槽が減少す

る中で事務局運営費の負担を軽くすること、事務局と検査室を同じ場所にするのを早急に進めたいと思います。余裕ができた予算で浄化槽の信頼向上、法定検査の受検率向上のためのPRを積極的におこなっていきます。

昨年も多くの市町村長さんにお会いして浄化槽の説明をおこないました。ほとんどが名水の里と掲げておられる15市町村のそれぞれの生活排水対策について、「飲み水は確かに名水ですが、たくさんの方が生活排水をたれ流ししている現状で水辺や河川が本当に名水と自慢できるのでしょうか」と話すと、言葉にならない空白の数秒が過ぎていきます。現状は理解されているのだと思いますが、富山県の河川は流れが速く、少々汚いものを流しても問題が起こっていないからです。

浄化槽は災害に強く、財政にやさしく、生活排水対策が速やかに出来ます。また、使い方が悪いと故障が起きたりするので、浄化槽を使っている方は環境意識の高い方が多いことなどから、国においても今残っているところの生活排水対策は浄化槽が望ましいと考えています。新年度から宅内配管工事にも国の補助金が出ます。CO₂削減対策としての補助金も全国浄化槽団体連合会を窓口として20億円に増額となりますので、是非、活用してください。

私は、浄化槽が大きく見直されている中で、浄化槽が信頼されるものでなければいけないと思います。そのため、もっともっと現場の情報が欲しいと思っています。行政や会員の皆さんの情報をお待ちしています。



年頭のご挨拶

富山県生活環境文化部
部長 須河 弘美

平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人富山県浄化槽協会の皆様には、ご健勝で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

貴協会におかれましては、皆様のたゆまぬご努力のもと、浄化槽の普及や適正管理を推進いただくとともに、法定検査の受検率向上の取組みにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。また、上田会長におかれましては、昨年6月以来、一般社団法人全国浄化槽団体連合会の会長として、その豊富なご経験と卓越した指導力をいかに発揮してご活躍されており、全国的なお立場からも本県の取組みを支えていただいていることを大変心強く感じております。

さて、昨年を振り返りますと、7月に西日本を襲った豪雨災害や9月の北海道での地震など、全国各地で大きな自然災害が相次ぎましたが、壊れにくく早期の修繕が可能など、災害に強い浄化槽の役割はますます重要になると考えます。本県では、平成27年に貴協会と「災害発生時における浄化槽の点検・復旧等に関する協定」を

締結し、浄化槽の緊急点検や応急復旧などを行うこととしており、今後とも貴協会との連携を深めてまいりたいと存じます。

また、本年10月には、我が国では初めての「世界で最も美しい湾クラブ」の総会が本県で開催されることになっており、清らかな水と豊かな緑に恵まれた「水の王国とやま」を国内外に発信する絶好の機会です。県としては、貴協会及び国、市町村と連携しながら、地域の実情に即した浄化槽の整備を進めるとともに、本県の水環境を後世に引き継ぐことができるようしっかりと取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

今年は「平成」から新たな元号への移り変わりの年となります。次の時代に向かって貴協会がこれまで以上に浄化槽の信頼性向上を推進されることを心から期待しております。

結びに、公益社団法人富山県浄化槽協会の限りないご発展と、会員の皆様方のますますのご健康、ご発展、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

富山県合併処理浄化槽普及促進協議会
富山市環境部長 伊藤 曜一

平成最後の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

公益社団法人富山県浄化槽協会並びに協会会員の皆様におかれましては、日頃から環境行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては 浄化槽の適正な維持管理の推進、環境保全意識の高揚に向け、JR富山駅前での街頭啓発、ラジオ放送、新聞の「浄化槽の日特集記事」掲載など活発な啓発活動等を行っておられますことに深く敬意を表する次第であります。

お陰を持ちまして、富山県内における汚水処理人口普及率は、平成29年度末で96.6%となり、都道府県別順位は前年に引続き第8位で、東海・北陸地区でも前年と同じく第1位となりました。このことは、皆様と共に手をたずさえて事業を進めてまいりましたことが、順調な汚水処理施設の整備に繋がったものだと考えております。

さて、これからの日本の社会は、本格的な人口減少と超少子高齢社会へと進行してまいります。富山県も例外ではなくそのような社会変化の中でも、生活排水の処理を向上させるためには、環境や財政にも優しい浄化槽の整備が促進されるとともに「単独処理浄化槽から合併処理

浄化槽への転換」、「浄化槽整備区域の拡大」、「災害にも強い浄化槽の整備促進」、「公的助成金の創設・拡充」、「省エネ型浄化槽整備の推進」などが求められ、そのために貴協会並びに皆様方の果たす役割は、ますます大きくなってまいります。

皆さまご承知のとおり、昨年6月には貴協会の上田会長が一般社団法人全国浄化槽団体連合会の第10代会長に就任されました。

強靱で魅力あるまちづくりと循環型社会、低炭素社会の実現に向けて道筋をつけなければならない大変重要なときに、見識に優れ、リーダーシップと実行力を兼ね備えた上田会長がいらっしゃいますことは、誠に心強い限りであり、今後とも十分な連携のもと、的確な施策を実施してまいりたいと考えておりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今年5月には新元号がはじまるという節目の年が、公益社団法人富山県浄化槽協会にとってさらなるご発展をされます一年となりますよう、また会員の皆様にとっても健やかで希望に満ちた一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

◎平成30年度第2回臨時理事会を開催 ― 県知事及び市町村長への要望に向けて―

◆10月24日(水)午後〈富山県民会館〉

第2回臨時理事会が開催されました。

決議事項1では、要望書案及び訪問者について審議され、異議なく原案どおり承認されました。

決議事項2の行政との情報交換会等の開催については、例年どおり開催することとし、出席対象者、次第等について審議され、異議なく原案どおり承認されました。

※ 平成31年1月30日(水)、ANAクラウンプラザホテル富山にて開催。

決議事項3では、11月から3月までの今後の予定が説明され、異議なく承認されました。また、来年度の事業計画や予算を審議する3月の定例理事会については、18日(月)に決定しました。

報告事項1と2については、会長と専務理事からそれぞれの職務執行状況について報告があり、報告事項3については、上田会長から全国浄化槽団体連合会の状況も含め報告がありました。また、報告事項4と5については、事務局が資料に基づき報告を行い、いずれも異議なく了承されました。

〈第2回臨時理事会の議題〉

【決議事項】

- 1 市町村長及び富山県知事への要望について
- 2 行政との懇談会等の開催について
- 3 今後の事業予定について

【報告事項】

- 1 会長の職務執行状況について
- 2 専務理事の職務執行状況について
- 3 環境省 省エネ補助事業について
- 4 富山県総合防災訓練の参加について
- 5 退会届等の状況について

【その他】

- ・ 中部支部 環境出前講座の開催について
- ・ 富山商工会議所の耐震工事及びそれに伴う事務所移転予定について



◎第1回 精度管理委員会

◆11月2日(金)午後〈富山県民会館〉

採水員検査の精度を高め信頼を得るための精度管理委員会が開催され、前年度に引き続き楠井委員(富山県立大学教授)が委員長に選出され、次の議題について話し合われました。

議題3の「BODクロスチェックについて」では、委員長から「現行と異なった測定法の採用も検討し、違いの原因を調査してみたらどうか」等の提案がありました。

【議題】

- 1 委員長の互選及び副委員長の指名について
- 2 平成29年度法定検査実施結果及び採水員検査の精度管理結果について
- 3 平成30年度採水員検査の精度管理計画(案)について



◎第1回ワーキンググループ会議(保守点検委員会)

◆9月12日(水)午後(富山国際会議場)

保守点検委員会の下に設置のワーキンググループ会議が開催されました。この会議では、採水員検査について県を交えて話し合うことでスタートしました。

議題1では、指定採水員検査制度について、事前に提出のあった各委員からの調査票に基づき説明があり、現在の指定採水員業務要領について意見交換を行いました。

議題2では、この春に、富山県環境政策課長名で指導(通知)のあった、浄化槽保守点検業の適正な実施について、県環境政策課の木原主任からの説明を踏まえ話し合いました。

(委員)

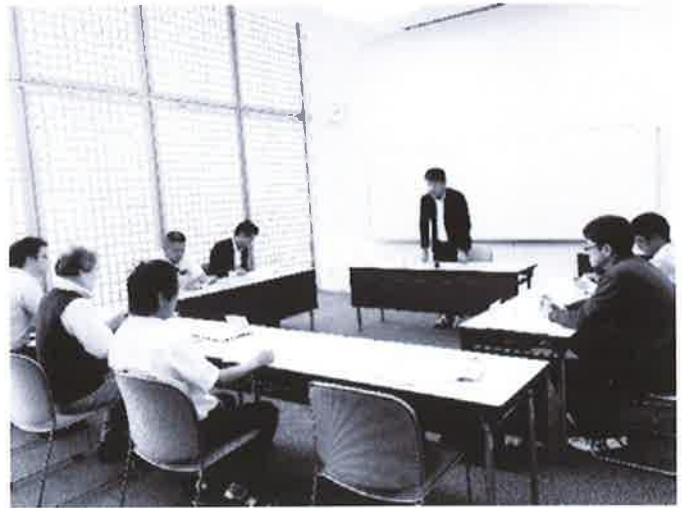
委員長…廣瀬 和夫氏

委員…長田 聖真氏、開澤 憲三氏、島 和也氏、
松井 実氏、山田 直樹氏 計6名

〈第1回ワーキンググループ会議〉

【議題】

- 1 指定採水員制度について
- 2 浄化槽保守点検業務の適正実施の徹底について



◎第2回 ワーキンググループ会議

◆12月12日(水)午後(富山県民会館)

第2回のワーキンググループ会議では、上田会長の出席のもと、委員の他に富山県環境政策課から2名、事務局から3名と計12名での開催となりました。

議題1では、富山県環境政策課八田主査からの問題提起で、「12月と1月に補助金対象者の法定検査未受検者に対し、県と市町村の担当課長が連名で法定検査受検案内をする。最終的には検査依頼を100%といたしたく、そのため依頼の確保や継続していく方法、保守点検業者さんのできる協力方について意見をいただきたい」と説明があり、話し合いました。

議題2では、「保守・清掃・検査の3点セット」である一括契約の、今後の取り組みに向けて話し合いました。

〈第2回ワーキンググループ会議〉

【議題】

- 1 法定検査(採水員検査)受検数及び受検率の向上について
- 2 一括契約の推進について
- 3 その他



◎富山県知事要望 平成30年11月20日(火)午後

◆当協会は、11月20日午後から富山県庁を訪問し、須河 弘美 生活環境文化部長に、2019年度の浄化槽整備関係事業等の要望書を説明の後、山崎 康至 副知事さんと懇談を行いました。

知事要望は、今年度で5回目となり、上田会長に福田副会長及び粟林専務理事が同行して行われました。

上田会長からは、富山県内における浄化槽の現状について説明し、浄化槽の整備促進など9項目を要望しました。

これからも浄化槽の普及促進などに向けて、知事要望を続けていきたいと考えております。

◆知事要望事項

[浄化槽の整備促進]

1. 汚水処理施設の概成と循環共生社会の構築に向けた取組みについて
2. 市町村設置型等の合併処理浄化槽の整備促進について
3. 単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への早期集中転換について

[浄化槽の適正な維持管理等]

4. 浄化槽台帳のより正確な整備について
5. 法定検査(第11条検査)の受検基数と受検率の向上について
6. 無管理浄化槽の撲滅について

[補助制度の拡充]

7. 単独処理浄化槽の撤去費に対する助成について
8. 小規模浄化槽の機械設備の警報器に対する助成について

[その他]

9. 浄化槽行政サービスの質の向上と市町村との連携について



要望書を手渡す上田会長(右)と受け取る須河県生活環境文化部長さん



山崎副知事さんにご挨拶。
総会時の講演資料をお渡ししました。

市町村長さんへの浄化槽関係要望

氷見市長さんと



〈施設整備〉

- 1 浄化槽を生かした自立・分散型の地域社会の構築について
- 2 市町村設置型等の合併処理浄化槽の早期整備について

〈補助制度の創設〉

- 3 維持管理等に対する助成制度の創設について

〈公共用水域の水質保全対策〉

- 4 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進について

〈災害関係〉

- 5 防災拠点等における合併処理浄化槽整備の推進について
- 6 災害時に備えての協力体制づくりについて

〈その他〉

- 7 法定検査の受検促進及び浄化槽台帳整備への協力について
- 8 浄化槽の信頼向上のための警報機取り付け推進について

砺波市 建設水道部長さんと



小矢部市 副市長さんと



高岡市 市民生活部長さんと



富山市長



南砺市長さんと



射水市 市民生活部長さんと



富山市



会長、副会長、支部長及び専務理事等は、今年度も浄化槽整備の必要性について、直接お会いしてお話をするため、15の市町村長を訪問しました。

市町村長さんは、沢山の情報を持っておられ、また、対応できる職員もおられることから、正しい情報を直接お伝えするため5年間訪問を続けてきました。その甲斐あって、要望を聞いていただける市町村長さんが増えています。

上田会長をはじめとして協会は、今後も浄化槽のさらなる普及促進に取り組んで参ります。

黒部市長さんと



朝日町長さんと



滑川市 建設部長さんと



入善町 副町長さんと



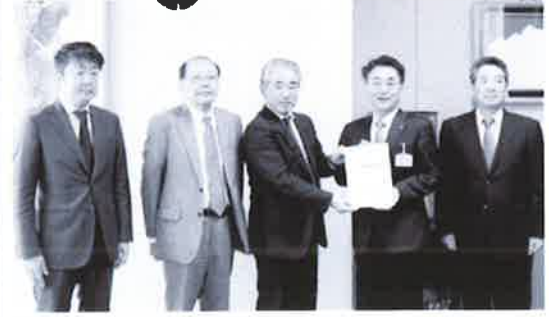
さんと懇談



上市町長さんと



魚津市長さんと



環境部長さんと



舟橋村 副村長さんと



立山町長さんと



10月1日「浄化槽の日」普及活動

◎ラジオの放送 ◆9月5日(水)～10月31日(水)

本年も、KNBラジオ放送で「浄化槽の日」をPRしました。

毎週水曜日の朝8時30分からのニュースの時間帯に放送しているラジオCMを、「浄化槽の日」バージョンに編集し放送しました。

◎新聞の特集記事を掲載

本年も富山新聞社と北日本新聞社が、また、新たに建設新報が「浄化槽の日」特集記事を掲載しました。広告にご協力いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

9月29日建設新報《新規》



9月30日富山新聞



10月1日北日本新聞



環境出前講座

〈中部支部〉

◆11月13日(火)

「豪雨災害から身を守ろう！」



一般社団法人日本気象予報士会
北陸支部 井上 陽子 氏

中部厚生センターの協力の
もと、上市浄化槽協会と合同で

開催し、25名が参加しました。

富山県は、幸いにも今のところ大きな災害は起きていませんが、もし、このようなことが身近におきたら、私たちは最初に何をし、どう自分の身を守るのか、とても重要なことを教えていただきました。



〈新川支部〉

◆12月4日(火)

「下新川から地球を読み解く」



朝日町教育委員会
久保 貴志 氏

新川厚生センター協力の
もと、新川地区浄化槽協会と合同で
開催し、25名が参加しました。

地球史的にも、とても貴重な地層を有する下新川について、とても分かりやすく、説明していただきました。



◎浄化槽の緊急点検で富山県総合防災訓練に参加しました。

◆9月2日(日)午前(氷見運動公園会場周辺)

今年度は氷見運動公園のメイン会場において、上田会長をはじめ島高岡支部長及び支部会員4名、協会の検査員3名が「浄化槽の緊急点検等の訓練」を実施しました。

公園内にある3カ所の浄化槽を対象として、地震により被害を受けたことを想定し、浄化槽の緊急点検を実施、使用の可否を判断、合わせて被害の実態調査等を実施しました。

現地対策本部テントにおいて、浄化槽の普及啓発事業の一貫として、合併処理浄化槽のミニチュアモデルやパネルの展示を行っていたところ、石井富山県知事の巡視があり、上田会長が説明等の対応をしました。



浄化槽の緊急点検の準備!

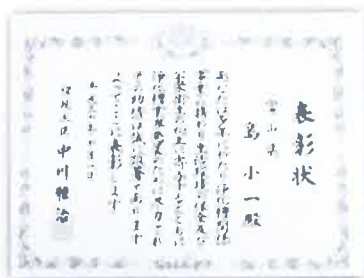


石井富山県知事に説明する上田会長

受賞のおよろこび

今後、ますますのご活躍をご祈念いたします。

◎ 環境大臣表彰 島 小一 氏 (株)高岡市衛生公社



◎ 富山県知事表彰 (環境部門功労)

島 正己 氏 (株)アムテック



◎ 環境省環境再生・資源循環局長表彰

長田 聖真 氏 (有)小矢部衛生工業



平成30年度浄化槽管理士技術講習会を開催

◎浄化槽管理士技術講習会(県委託事業)

平成30年度浄化槽管理士技術講習会(県委託事業)を、11月6日高岡会場及び7日富山会場で開催し、県内の浄化槽管理士169名が受講しました。

今回の講習会内容は、昨年度のアンケートの回答で、現場でのトラブル対応や計測機器の測定値の見方等についての希望が多かったため、岡城技術士事務所の岡城所長に講演をお願いしました。

講演では、富山県木原主任からの富山県の浄化槽行政の説明や、岡城所長の細かな部分のメンテ方法等の動画もあり、参加者から「大変わかりやすく、とても有意義な講習だった」とお声をいただきました。

また、賛助会員の(株)日環商事、日星産業(株)、カマタニ(株)が、保守点検商品を展示されました。



講習会風景

ご挨拶いただいた方々



県 八田主査



廣瀬 委員長



廣瀬 副委員長

〈日時・場所・受講者数〉

- ・高岡会場:11月6日(火)高岡エクール 84名
- ・富山会場:11月7日(水)富山県総合情報センター 85名 計169名(58社)

〈演題・講師〉(両会場とも)

- ・「浄化槽行政の動向について」 富山県環境政策課 主任 木原 忍 氏
- ・「浄化槽の疑問における様々な疑問、トラブルへの処方箋」
岡城技術士事務所 所長 岡城 孝雄 氏

講師の方々



富山県 木原主任



岡城 所長



展示品を見学する受講者の皆さん

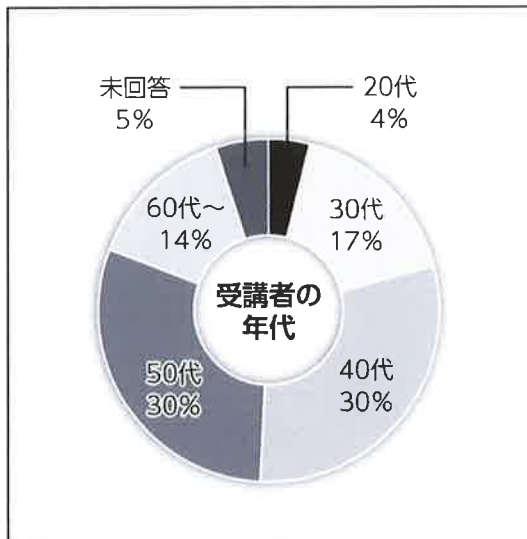


〈浄化槽管理士技術講習会におけるアンケート結果〉

◎今回の、受講された方々からのアンケート結果です。

来年度の講習会の参考にさせていただきます。

◆受講者の年代



◆この講習会の開催月について

順位	開催月	人数 (人)
1	今と一緒の11月頃が良い。	91
2	5~6月頃	8
3	8~9月頃	8
4	10月、12月	6
5	1~3月	10
6	未回答	8
合計		131

◆保守点検を行う中で、気になる事項は何ですか？

(複数回答可)

順位	気になる事項	人数 (人)
1	測定機器 (PH計、DO計) の、日々の校正やメンテ方法が知りたい。	17
2	測定機器を正確に効率よく測定する方法と測定値の見方について知りたい。	21
3	測定機器の消耗品 (電極・センサー等) の商品の特徴について知りたい。	24
4	残留塩素測定を試薬 (粉末、液体、錠剤) の違いを知りたい。	17
5	ダイヤフラム式の入替の長所・短所等について知りたい。	9
6	点検時に実施する、循環量や移送量の測定方法とその意味について知りたい。	27
7	流入水量等を把握する方法とその意味について知りたい。	26
8	汚泥厚等の測定器具・測定方法と清掃の判断方法を知りたい。	14
9	空気配管等の目詰まりの良い解消方法を知りたい。	35
10	手かぎ等、点検時に使い易い器具等があれば知りたい。	21

富山県の動き

「浄化槽法に規定する法定検査の受検について」の通知について

富山県環境政策課は、市町村担当課と協力して、補助金を受けているにも関わらず法定検査を未受検の設置者に対し、法定検査の受検通知を出して、改善を図っていくこととしています。

この通知は、12月から始め年度内に順次対象者に送付されます。

設置者からお問い合わせ等がありましたら、ご説明等していただきたくご協力をお願いいたします。



浄化槽維持管理等技術研修業務の実施

平成30年度県の県委託事業として、浄化槽の適正な維持管理確保を指導する県及び市町村の浄化槽担当者を対象に、指導力強化等を図るため各現場にて実地研修を実施しました。

業務名	日程	参加所属名	人数
富山県維持管理等技術研修業務	平成30年10月2日	富山県砺波厚生センター	1名
	平成30年11月12日	富山県高岡厚生センター射水支所	1名
	平成30年11月19日	同 上	1名
	平成30年12月10日	富山県新川厚生センター魚津支所	1名
	平成30年12月14日	同 上	1名



(実地研修の様子)

トピックス

環境情報より (平成30年12月1日号)

埼玉県

保守点検業者登録条例違反で逮捕 無登録認識で悪質と判断、県告発

埼玉県警所沢署は11月5日、県浄化槽保守点検業者登録条例に違反した容疑で、浄化槽保守点検業に携わっていた県内の49歳の男を逮捕した。逮捕容疑は、浄化槽保守点検業の登録更新を行っていなかったにもかかわらず、平成28年から今年にかけて250回以上の浄化槽保守点検作業をしたこと。

浄化槽法定検査の受検時に発覚し、県では通知等で再三更新を求めてきたが、男は無登

録を認識しながら業を継続したため悪質と判断。埼玉県西部環境管理事務所から同署に告発を行った。同条例違反の適用は埼玉県では初めて。

県水環境課は「特別な事情等で登録が失効するようなことは希にあるが、このような悪質なケースには毅然と対処する」と厳しい姿勢を示した。

上田勝朗氏 全浄連第10代会長就任 激励会

◎8月24日(金)〈富山第一ホテル〉

上田会長が、6月29日の全浄連総会において第10代会長に就任されたことを受け、今後ますます活躍されるようにと激励会を開催しました。

国会議員の堂故 茂参議院議員をはじめとして、県議会議員の方々など、総勢47名という多くの参加者が上田会長を激励しました。



長田監事が代表して花束を贈呈



堂故 茂 参議院議員



藤田 良久 県議会議員
(厚生環境委員会副委員長)



五十嵐 務 県議会議員
(富山県環境保健衛生連合会会長)



上田 英俊 県議会議員

会員親睦 第8回 TJK杯ゴルフ大会

◎日 時:10月5日(金)

会 場:高岡カントリークラブ

参加者:15名

第8回TJK杯ゴルフコンペを2年ぶりに開催し、4チームに分かれた15名が、青空のもと熱戦を繰り広げました。

今回は、今までと会場が替わったこともあり、皆さん、腕や足にも力が入った戦いでした。

それぞれの賞(?)を狙った楽しいひと時でした。

優勝 廣瀬 和夫 氏((株)魚津清掃公社)



青年部会活動

◎環境出前講座「こども環境教室」

青年部会は、浄化槽をはじめとする生活排水処理施設の役割を通して、富山県の水の素晴らしさや水の大切さに感心を持ってもらおうと、県内の小学校を対象に、環境出前講座「こども環境教室」を実施しました。今年で7年目となります。

最初のパワーポイント(「トイレの水はどこに流れるの?」)では、いくつかのクイズを交え、子どもたち全員が参加し、暮らしの中で使う水の大切さや、浄化槽でキレイにする仕組みを学習しました

クイズの後は、ミニチュアモデルで浄化槽の構造を見ながらブローアを実際に動かしてみたり、また、顕微鏡では動く微生物を観察しました。

子どもたちは、生きている微生物に大変関心を持ち、また水環境を守るために身近にできることに興味を示し、節水やゴミ拾い等を積極的にしていきたいと話してくれました。

終了後に、子どもたちに「水切ネット」と「下敷き」を配布しました。

【平成30年度後半「こども環境教室」を行った学校】

- ・9月12日(水) 氷見市立上庄小学校4年生 21名
- ・10月 3日(水) 小矢部市立津沢小学校4年生 39名
- ・11月28日(水) 小矢部市立石動小学校4年生 67名

*「こども環境教室」は無料です。お問い合わせ及びお申込みは、当協会事務局までどうぞ!



上庄小学校の様子



津沢小学校の様子



石動小学校の様子

◎視察研修

◆11月29日(木)

今年度の青年部会研修会は、参加しやすいように、富山県内で講演会を開き、併せて防災に関する施設を訪れ暴風雨や救急車が来るまでの応急処置などについて体験しました。

また、夜には情報交換を行い、「こども環境教室」や「ecoとプロジェクト」など、今後の青年部会のあり方について、有意義な意見を交わしました。

〈講演〉

- ・「浄化槽業界における、これからの若手経営者が必ず実施すべきこと」

(株)船井総合研究所 東 新一 氏

参加者:25名(うち一般会員の参加7名)

〈訪問施設〉

- ・「体験型学習施設 四季防災館」



講演会のようす→



普通救命講習を受ける青年部会員

◎第9回 富山に^{いいこ}ecoとプロジェクト ～清掃活動～

◆9月16日(日)〈射水市 六渡寺海岸〉

今にも雨が降りそうなお天気の中、FMとやま主催のキャンペーンに参加して、青年部会や家族等25名が、県内で最も漂着ゴミの多いといわれる「六渡寺海岸」で、今年2回目となる清掃活動を行いました。

わずか数日で元に戻ってしまう海岸のゴミを少しでもきれいにしようと、毎年、多くの人たちが清掃活動に参加されています。



ゴミを分別して袋へ。力が入ります。



きれいになりました！(^_^)

◎「とやま環境フェア2018」に出展！

◆10月13日(土)、14日(日)〈高岡テクノドーム〉

水環境の保全に役立っている浄化槽の仕組みを学び、そのきれいにする力「微生物」を実際に観察し、水の大切さを学んでもらおうと、青年部会の協力のもと出展しました。

浄化槽のミニチュアモデルで浄化槽の仕組みを紹介したほか、浄化槽で働く「微生物」を、顕微鏡とパソコン画面で観察してもらいました。

来場者は、例年並みでしたが、相変わらず“微生物”は人気があり、微生物を掲載した「下敷き」を子どもたちに渡しました。

(ブース来場者2日間で約600名)



何が見えるかな？

2019年度浄化槽推進関係予算(案)の概要

1. 浄化槽整備のための国庫助成

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市町村等が実施する浄化槽整備を推進するとともに、地球温暖化対策に資する浄化槽の省エネ改修に対して国庫助成を行う。

循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備への財政支援については、浄化槽市町村整備推進事業を重視するとともに、「①大型浄化槽による共同化、②PFI等の民間活用、③公営企業会計の適用について検討」を行う。汚水処理未普及人口解消の観点から、単独処理浄化槽や汲み取り便槽の合併処理浄化槽への転換に予算を重点化する。

- 循環型社会形成推進交付金（浄化槽分） 9,577百万円
【うち臨時特例分※ 1,000百万円】
（※防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策費）
【30年度補正 1,000百万円】
- 二酸化炭素排出抑制事業費等補助金（浄化槽分） 2,000百万円

【単位：百万円】

予算事項	平成30年度予算額	2019年度予算(案)	対前年度比
循環型社会形成推進交付金	(8,916)※	(9,979)	(111.9%)
二酸化炭素排出抑制事業費等補助金	8,421	9,577	113.7%
	1,600	2,000	125.0%
計【2019年度】	(10,516)	(11,979)	(113.9%)
	10,021	11,577	115.5%
循環型社会形成推進交付金 【補正】	1,000	1,000	100.0%
	※29年度補正	※30年度補正	
計【補正+30年度】	(11,516)	(12,979)	(112.7%)
	11,021	12,577	114.1%

※上段（ ）は、内閣府（沖縄）、国土交通省（北海道、離島）計上分を含む額

上記の他、

- 地方創生推進交付金（内閣府に計上）1,000億円の内数

地方版総合戦略の本格的な推進に向けた地方創生の深化のための交付金。

本交付金のうち、「地方創生汚水処理施設整備推進交付金」は、(旧)地域再生基盤強化交付金（環境省、農林水産省、国土交通省所管の汚水処理施設等を総合的に整備する汚水処理施設整備交付金等）から再編され、平成28年度に創設されたもの。

2. 国庫助成の内容

〈循環型社会形成推進交付金〉

〔新〕単独転換に伴う宅内配管工事費の助成【個人設置型、市町村設置型】

浄化槽整備において、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換（以下、「単独転換」という。）を進めることで水質保全の確保や公衆衛生の向上にも貢献するため、単独転換について転換後の浄化槽法に定める法定検査（7条、11条）の検査依頼書の添付を要件化した上で、宅内配管として合併処理浄化槽への流入管、弁の設置及び側溝までの放流管を対象とし、宅内配管工事（掛かり増し分：上限30万円）を補助とする。

（助成率 国1/3、市町村2/3）

〔新〕浄化槽市町村整備推進事業における共同浄化槽設置（管渠への助成含む）及び複数戸設置要件の撤廃

【市町村設置型】

都道府県構想等に定める浄化槽整備区域において、浄化槽を全戸に個別に設置するよりも共同浄化槽を設置の方が単独転換を含めた汚水処理を効率的かつ集中的に進めることができる場合、空き地等の公有地を活用した共同浄化槽（100人以内）の整備（流入管含む）を対象とし助成する。なお、効率的な整備の観点から流入管工事費の助成額は上限を定める。

併せて共同浄化槽の設置を対象とすることを踏まえ、浄化槽市町村整備推進事業の複数戸設置要件（地域計画の計画期間（5～7年程度）中に100戸以上を対象とする浄化槽の整備）を撤廃する。

（助成率1/3、1/2）

② 環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業における環境配慮の性能・設置要件見直し（個人設置型、市町村設置型）

省エネ機能の高い環境配慮型浄化槽を推進するとともに、単独転換促進施策及び強靱なまちづくり施策を組み合わせる総合的に推進。廃棄物処理施設整備計画における先進的省エネ浄化槽（2013年度の消費電力基準に対し26%削減）の整備による二酸化炭素排出削減目標の設定を踏まえ、より省エネ機能の高い浄化槽普及を図るべく性能要件を高い水準とし、併せて省エネ浄化槽の国庫助成対象基準額を見直す。

また、同計画における単独転換の目標の設定に伴う単独転換の推進や国土強靱化に伴う防災拠点の浄化槽整備を本事業によりさらに進めるため、設置要件も従来の基数要件から地域計画の（年度毎）事業計画額のうち、単独転換や汲取り便所からの転換の割合（個人設置では6割以上、市町村設置では5割以上または地域防災計画に位置づけられた浄化槽整備を行う場合は3割以上）であるように見直す。（助成率1/2）

② 公的施設・防災拠点単独処理浄化槽集中転換事業の補助要件の緩和（市町村設置型）

単独転換促進の指導を行う立場である地方公共団体が所有する単独処理浄化槽が、全国で約4.3万基近く残存している。これらのうち、「公的施設・防災拠点単独処理浄化槽集中転換事業」で浄化槽を設置する場合に限り、複数設置基数要件に関わらず1基から整備を可能とする。併せて地方公共団体自ら所有する公的施設を本事業で実施する場合には、条例による定めを不要とする。

【参考として本事業に関連する他事業】

- ・「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」

地域防災計画または地方公共団体との協定により災害時に避難施設等として位置づけられた公共施設に、平時温室効果ガス排出抑制に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮が可能な再生可能エネルギー設備等を導入する事業。（補助率1/2、2/3、3/4 補助）

※本事業を実施するにあたり、対象となる公共施設に設置されている浄化槽等が単独処理浄化槽や汲み取り便槽の場合、原則として循環型社会形成推進交付金による合併処理浄化槽への転換も併せて実施するものとする。

○ 浄化槽台帳の導入推進への循環型社会形成推進交付金（計画策定調査費）による支援

単独転換や老朽化した浄化槽の計画的な更新の推進、適正な維持管理の確立、災害対応力の強化に向けて、行政による浄化槽情報や指定検査機関、民間業者（保守点検、清掃）の有する情報を統合・整理した浄化槽台帳が必要であり、浄化槽台帳を整備する都道府県若しくは市町村に対して、浄化槽台帳作成への支援を計画策定調査費で支援する。

〈二酸化炭素排出抑制事業費等補助金（浄化槽分）〉

○ 省エネ型浄化槽システム導入推進事業

（「省エネ型中・大型浄化槽システム導入推進事業」から名称変更）

51人槽以上の既設合併処理浄化槽に係る、省CO₂型の高効率設備（高効率プロフ、インバーター制御等）の導入・改修を行う。その中でも、平成12年以前に設置された建築基準法に定める旧構造基準及び新構造基準の浄化槽（プロフを使用するものに限る）のうち60人槽以上の既設合併処理浄化槽の交換については、構造や本体のコンパクト化からエネルギー効果の高いと見込まれる浄化槽について地方公共団体や民間団体に補助する。

（補助率1/2間接補助）

【参考として本事業に関連する他事業】

- ・「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等による住宅における低炭素 促進事業のうち高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業」

2030年度のCO₂削減目標達成のためには、家庭部門からのCO₂排出量を約4割削減しなければならない。その達成には、住宅の省エネルギー性能の向上等を図る必要があり、既存住宅の省エネ化に資する高断熱建材を用いた住宅の断熱改修を本事業の活用により推進する。

（補助率 1/3 上限120万円/戸（戸建）15万円/戸（集合））

※本事業の実施を検討する者に対して、集合住宅に合併処理浄化槽が設置されている場合、「省エネ型浄化槽システム導入推進事業（二酸化炭素排出抑制事業費等補助金）」の実施も検討を促す。

3. 浄化槽の整備推進にかかる行政経費（一部掲載）

○ 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 404百万円の内数

「2030年までに、未処理の排水の割合半減」、「2030年までに、排水処理技術など、開発途上国における水と衛生分野での国際協力と能力構築支援を拡大」等の持続可能な開発目標（SDGs）に貢献するため、浄化槽等の日本発の優れたし尿処理技術の国際展開を図る。

③ 浄化槽長寿命化計画策定推進事業

78百万円

【うち30年度補正60百万円】

災害時の浄化槽の破損等を防止するため、浄化槽の計画的・効率的な更新、修繕、管理の最適化を推進する長寿命化計画策定のためのガイドラインの検討、作成を行い、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化を図る。

4. その他

〈東日本大震災復興交付金として復興庁計上〉

○ 低炭素社会対応型浄化槽等集中導入事業

東日本大震災により被害のあった地域における、低炭素社会対応型浄化槽（市町村設置型・個人設置型）及び通常型浄化槽（個人設置型）の迅速な整備について財政支援を行い、被災地の生活排水対策の早期回復を図る（平成32年度まで継続）

都道府県別汚水処理人口普及状況 (平成29年度末)

—環境省HPより—

都道府県名	汚水処理人口普及率	順位	総人口 (千人)	汚水処理人口計 (千人)	下水道 (千人)	農業集落排水施設等 (千人)	合併処理浄化槽 (千人)	うち	うち	うち	コミュニティ・プラント (千人)
								浄化槽市町村整備促進事業等分 (千人)	浄化槽設置整備事業分 (千人)	左記以外分 (千人)	
北海道	95.4%	10	5,311	5,065	4,833	68	164	56	67	42	0
青森県	79.0%	41	1,298	1,025	776	117	132	12	40	79	0
岩手県	80.8%	35	1,256	1,015	743	106	165	41	96	28	2
宮城県	91.2%	17	2,302	2,100	1,868	70	155	37	79	38	6
秋田県	86.7%	24	1,008	873	650	106	116	22	68	27	0
山形県	91.8%	15	1,100	1,011	840	80	90	19	46	24	0
福島県	82.6%	33	1,844	1,524	983	121	420	40	242	138	0
茨城県	84.0%	31	2,941	2,470	1,818	161	482	13	197	272	10
栃木県	86.2%	26	1,979	1,705	1,311	88	304	6	238	60	1
群馬県	80.5%	37	1,985	1,598	1,068	124	382	23	234	124	24
埼玉県	91.7%	16	7,362	6,754	5,947	95	711	23	189	499	1
千葉県	88.0%	20	6,297	5,541	4,673	51	809	11	302	496	8
東京都	99.8%	1	13,668	13,636	13,605	2	27	4	9	14	2
神奈川県	98.0%	5	9,175	8,991	8,872	3	116	3	37	76	0
新潟県	87.2%	22	2,270	1,979	1,702	154	123	16	45	63	0
富山県	96.6%	8	1,066	1,030	904	91	32	1	19	11	3
石川県	93.9%	11	1,146	1,075	957	64	52	10	14	29	3
福井県	95.7%	9	787	754	626	90	37	3	27	8	0
山梨県	82.2%	34	835	686	550	16	115	8	47	60	6
長野県	97.8%	6	2,105	2,059	1,761	181	116	16	77	22	1
岐阜県	92.2%	13	2,046	1,886	1,551	117	214	9	132	73	4
静岡県	80.7%	36	3,731	3,009	2,355	31	610	15	354	241	14
愛知県	90.4%	18	7,541	6,817	5,879	157	771	22	249	499	11
三重県	84.4%	30	1,827	1,542	979	100	460	19	230	210	3
滋賀県	98.7%	3	1,417	1,398	1,271	90	37	0	14	23	0
京都府	98.0%	4	2,556	2,505	2,413	43	49	11	25	13	0
大阪府	97.7%	7	8,844	8,639	8,469	1	168	4	27	137	0
兵庫県	98.8%	2	5,573	5,506	5,178	162	102	8	65	29	64
奈良県	89.4%	19	1,367	1,222	1,092	8	120	4	35	82	3
和歌山県	63.6%	46	970	617	264	46	307	14	183	110	0
鳥取県	93.6%	12	567	531	400	98	32	5	14	13	0
島根県	79.3%	40	688	546	332	102	107	29	47	32	4
岡山県	86.1%	27	1,913	1,647	1,285	45	317	18	205	95	0
広島県	87.9%	21	2,839	2,494	2,120	55	316	14	153	149	4
山口県	86.6%	25	1,388	1,203	911	67	225	8	137	80	0
徳島県	60.4%	47	753	455	136	20	291	14	163	114	8
香川県	76.6%	43	988	757	443	17	297	14	234	49	0
愛媛県	78.1%	42	1,387	1,084	745	40	296	25	166	105	3
高知県	72.5%	45	720	522	273	22	225	14	127	84	2
福岡県	92.1%	14	5,117	4,715	4,173	56	474	59	290	125	12
佐賀県	82.8%	32	829	687	500	61	125	39	65	21	1
長崎県	80.2%	38	1,369	1,099	853	49	191	16	135	41	5
熊本県	86.8%	23	1,780	1,545	1,215	73	257	31	176	51	0
大分県	75.8%	44	1,163	882	587	35	260	11	168	80	1
宮崎県	85.1%	29	1,105	940	656	50	235	18	182	34	0
鹿児島県	80.1%	39	1,643	1,317	690	41	580	47	410	123	5
沖縄県	85.6%	28	1,465	1,255	1,048	68	139	13	6	121	0
全 国	90.9%	-	127,323	115,712	100,306	3,440	11,754	844	6,066	4,844	211

(注) 1. 整備人口は四捨五入を行ったため、合計が合わないことがある。

2. 平成29年度調査は、福島県において、東日本大震災の影響により調査不能な町村(楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村)を除いた値を公表している。

3. 福島県については、上記市町村以外でも東日本大震災に伴う避難の影響により人口が流動していることに留意する必要がある。

県内市町村別の汚水処理及び下水道処理人口普及状況 (平成29年度末)

—富山県HPより—

(単位：千人)

市町村名	行政人口	下水道 処理人口	下水道処理 人口普及率 (%) (()内H28年度末)	類似施設 処理人口	処理人口合計	汚水処理 人口普及率 (%) (()内H28年度末)
富山市	417.2	384.2	(91.9) 92.1	29.4	413.6	(99.1) 99.1
高岡市	172.5	158.4	(91.5) 91.8	6.6	164.9	(95.4) 95.6
魚津市	42.2	32.0	(75.2) 75.7	8.8	40.7	(96.3) 96.4
氷見市	48.2	29.1	(60.0) 60.4	14.9	44.0	(90.6) 91.3
滑川市	33.3	25.2	(73.0) 75.6	5.8	30.9	(91.5) 92.9
黒部市	41.5	26.3	(62.6) 63.3	13.0	39.3	(94.1) 94.7
砺波市	48.7	32.6	(65.1) 67.0	10.7	43.3	(87.9) 89.0
小矢部市	30.3	19.1	(62.0) 63.0	6.3	25.4	(82.7) 83.7
南砺市	51.5	43.8	(84.9) 85.0	7.5	51.3	(99.6) 99.6
射水市	93.3	82.6	(87.2) 88.5	10.6	93.2	(99.9) 99.9
市計	978.7	833.1	(84.6) 85.1	113.5	946.6	(96.5) 96.7
舟橋村	3.1	3.1	(100.0) 100.0	0.0	3.1	(100.0) 100.0
上市町	20.9	18.2	(87.2) 87.2	2.4	20.6	(98.6) 98.5
立山町	26.3	22.0	(82.9) 83.9	2.7	24.7	(92.8) 94.2
入善町	25.1	18.7	(74.3) 74.5	6.4	25.1	(99.9) 99.9
朝日町	12.2	9.2	(73.3) 75.7	1.0	10.2	(81.8) 83.8
町村計	87.5	71.2	(80.7) 81.4	12.4	83.6	(94.9) 95.6
合計	1,066.2	904.3	(84.2) 84.8	125.9	1,030.2	(96.3) 96.6

・類似施設：農村下水道、コミュニティ・プラント、合併処理浄化槽等
 ・表の数値については、四捨五入を行ったため、合計等が合わないことがある。

◎第32回「全国浄化槽大会」開催される

◆10月1日(月)〈東京都 ホテルグランドパレス〉

「浄化槽の日」を記念して、浄化槽の健全な普及促進を図り、生活環境の保全、向上に寄与することを目的に「第32回全国浄化槽大会」が開催されました。

当協会の上田会長、粟林専務理事等、全国から関係者約800名が参加し、式典では、祝辞の後、6項目の「浄化槽適正整備推進決議」の採択、浄化槽功労者の表彰、浄化槽標語募集の結果発表が行われました。その後の懇親会には、中川雅治環境大臣など多くの国会議員が出席され、浄化槽への一層の整備促進に期待を述べられました。

表彰式では、当協会からお二人が受賞されました。

“環境大臣表彰” 島 小一氏 (当協会顧問)

“環境省 環境再生・資源循環局長表彰” 長田 聖真氏 (当協会監事)



挨拶をする上田勝朗全浄連会長

(どちらも全浄連ニュース160号より)



大会会場風景

◎10月17日に麻生財務大臣、同25日に原田環境大臣に要望(全浄連ニュース160号より)

全浄連は、自民党・浄化槽推進議員連盟に、単独処理浄化槽の合併転換加速化、防災拠点への浄化槽整備に係る法整備、助成制度拡充などの7項目の要望を行いました。

議連も、決議書を麻生財務大臣及び原田環境大臣に手渡して要望されました。



財務省で麻生財務大臣に決議書を手渡す鈴木会長(鈴木会長の後方は、田畑衆議院議員)

◎全浄連 北陸地区協議会各県会長会議を開催(担当:富山県)

◆11月21日(水)、22日(木)〈富山市 とやま自遊館〉

平成30年度の全浄連 北陸地区協議会各県会長会議は、担当県である当協会が新潟県、石川県、福井県の会長さんと事務局長さんをお迎えし、富山市で開催しました。

会議では、事前に提出された質問に対し、各県からの回答を説明していただき、上田会長からは補助事業の話や全浄連及び国の動きなどが説明されました。

情報交換では、次から次と話題は尽きることがなく、1日目は夜遅くまで、また、翌日の昼食時にも話し合う時間が持てたことで、とても熱い会議となりました。



◎平成30年度 省エネ中・大型浄化槽システム導入推進事業の進捗状況

12月17日現在、全国でタイプ1が424件(うち富山県8件)、タイプ2が9件(富山県は0件)が承認されております。

※富山県の補助承認件数 8件(住宅施設3、娯楽施設2、宿泊・事務所・作業場各1)

事業は、来年度以降も継続しますので、補助金の活用を設置者へご提案していただき、ご活用くださるようお願いいたします。

来年度の対象範囲は、今年度より更に広がります。

環境省の「2019年度浄化槽推進関係予算(案)の概要」を参考にご覧ください。

◎(公財)日本環境整備教育センター

第32回 全国浄化槽技術研究集会に参加

◆10月9日(火)、10日(水)〈名古屋市 名古屋国際会議場〉



(公財)日本環境整備教育センターが主催する第32回全国浄化槽技術研究集会は、名古屋市で開催されました。初日には研究発表と式典が、また2日目は浄化槽行政担当者研究会と浄化槽検査員研究会が催され、両日合わせて延べ約1,400名の関係者が全国各地から参加しました。当協会からは上田会長はじめ7名が参加しました。

次回開催地は、秋田県です。

浄化槽法指定検査機関

◎東海北陸ブロック協議会研修会を開催

◆11月15日(木)、16日(金)〈富山市 サンフォルテ〉

浄化槽法指定検査機関東海北陸ブロック協議会研修会を、富山市で開催しました。

この研修会は、東海北陸7県9指定検査機関の検査員の技術の研鑽と資質向上を図るため、毎年、持ちまわりで開催しているもので、今年度は富山県が当番県でした。各検査機関から40名が参加、富山県環境政策課 矢野課長様を来賓にお迎えし2日間に亘って開催しました。

1日目は、環境省と日本環境整備教育センターによる講演、その後それぞれの情報交換などを行い、実りある研修会となりました。

2日目は、前日に引き続き日本環境整備教育センターの濱中氏の講演が行われました。また、並行して役員連絡会が開催され、各機関から事前に提出された議題について熱心に意見交換がされました。

(講演)

◎「最近の浄化槽行政について」 環境省 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室 櫻木 秀憲 氏

◎1日目「法定検査の現状・課題と今後の方向性」及び「浄化槽の構造と維持管理について」

2日目「浄化槽の機能障害と対策について」

(公財)日本環境整備教育センター 調査研究第2チームリーダー 濱中 俊輔 氏



協議会 浅野会長



富山県 矢野課長



櫻木 氏



濱中 氏



講習会風景



役員連絡会

お知らせ

◆富山商工会議所ビルの耐震補強工事について

当協会事務局が入居しています富山商工会議所ビルは、平成30年10月から32年3月(予定)まで、耐震補強工事を行っております。

そのため、現在、駐車場が利用できず、また、ビル内においても、1部のエレベータや1階の渡り廊下も、利用できない状態になっています。

つきましては、ご来所の際にはご注意ください。駐車場につきましては、下記の場所をご利用くださるようお願いいたします。

富山商工会議所ビルの裏側にあります

来所時の 駐車場について

富山市宮総曲輪駐車場(有料)をご利用ください。⇒回数駐車券をお渡しいたします。

※お願い:隣のコンビニエンスストアには、駐車されませんようお願いいたします。

※皆様にはご不便をお掛けしますが、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

工事期間
2020年
3月末頃まで

◆富山県庁 環境政策課等一部移転のお知らせ

富山県防災・危機管理センター(仮称)の整備に伴う県庁舎の改築工事のため、本庁舎の一部の所属、生活環境文化部の環境政策課等が移転されましたのでお知らせいたします。

来訪される場合は、ご注意ください。

移転先

環境政策課、環境保全課、自然保護課は
第2電気ビルディング8階へ移転
〒930-0005 富山市新桜町5番3号
電話番号、ファックス番号は変わりません。

移転期間

2021年度末頃まで

お知らせ

◎会員情報

◆変更

所属業種	会員名 変更事項	変更後
製造・工事 ・保守	北陸藤吉工業(株) 代表取締役社長	矢竹 晃
製造・工事 ・保守	北陸フジクリーン(株) 代表取締役社長	元井健太郎
工事業	井口燃料店 代表	井口 利通
賛助会員	(株)日環商事 取締役社長	蓮池 茂

(敬省略)

◆退会業者

所属業種	会員名	住所
工事業	(株)丸八	黒部市

(敬省略)

◎浄化槽の一括契約状況 (H30.4月~12月)

高岡市 : 9件 (H29までの累計 : 214件)

黒部市 : 8件 (H29までの累計 : 206件)

水見市 : 0件 (H29までの累計 : 131件)

* 保守点検・清掃・法定検査を一つの契約で行い、適正な維持管理と法律を守ることに繋げる「一括契約」をこれからも推進しましょう!

◎検査手数料の口座振替キャンペーン実施中

法定検査受検者の利便性について配慮した口座振替キャンペーンは、平成29年度の申込み件数139件で、今年度も引き続き行います。

口座振替を申込まれた一般住宅の方には、「クオカード (500円)」をプレゼントしています。

是非、お申込みください!



◎指定採水員研修会を開催します

指定採水員の業務内容の確認と資質向上を図るため、指定採水員研修会を開催いたします。

詳細は、直接、事業所へご案内いたしますので、1事業所1名以上は必ず受講してくださるよう、お願いいたします。

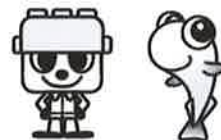
開催日	平成31年2月19日(火) 13時30分から
会場	富山県市町村会館 2階ホール

◎今後の開催予定 (総会・理事会等)

平成30年度 行政との情報交換会及び新春懇親会
平成31年1月30日(水) 16時から

平成30年度 第2回定例理事会
平成31年3月18日(月) 14時から

平成31年度 第7回定時総会
平成31年6月4日(火) 14時から



編集後記

とうとう、平成最後の新年を迎えました。と言っても、何か変わるわけではないのですが、新しい年号は?、年号で表示してるもの何があったかな?なんて考えております。

この冬号で、いつもお知らせしていますが、国の浄化槽の新年度予算案が決まりました。信じられないように増えた補助事業の額にオドロキです。悲願だった宅内工事費にも助成されます。この機会に単独処理浄化槽の全てを合併処理浄化槽に転換して欲しいものです。

浄化槽の新たな時代のスタートです。

皆さん、今年も1年、健康で頑張りましょうね(^_^)

●協会のあゆみ

●第84号より続く

年月日	内 容	会 場
平成30年		
7月26日	黒部市合併処理浄化槽適正維持管理推進協議会総会	黒部市役所
7月29日	故 中沖 豊前富山県知事 県民お別れの会	富山県民会館
8月 9日	機関紙「浄化槽とやま」第84号発行	
8月24日	上田勝朗氏 全浄連会長就任激励会	富山第一ホテル
8月31日	第4回青年部会幹事会	富山商工会議所ビル
9月 2日	富山県総合防災訓練参加	氷見運動公園
9月 6日、7日	東海北陸ブロック協議会検査員連絡会②	愛知県蒲郡市
9月12日	第1回ワーキンググループ会議(保守点検委員会)	富山国際会議場
9月12日	こども環境教室③	氷見市立上庄小学校
9月16日	第9回富山にe c oとプロジェクト～清掃活動～	射水市六渡寺海岸
9月20日	全浄連 常任理事会	東京都
9月21日、25日	市町村長要望	南砺市、氷見市、富山市、黒部市
9月29日～10月1日	「浄化槽の日」新聞普及啓発	建設新報、富山新聞、北日本新聞
10月 1日	第32回全国浄化槽大会	東京都
10月 2日	全浄連理事会、浄化槽推進議員連盟役員会	東京都
10月 2日	第4回青年部会幹事会	富山県民会館
10月 3日	こども環境教室④	小矢部市立津沢小学校
10月 5日	第8回TJK杯ゴルフ大会	高岡カントリークラブ
10月 9日、10日	第32回全国浄化槽技術研究集会	名古屋市
10月12日	第13回3R推進全国大会に出展	富山国際会議場
10月13日、14日	とやま環境フェア2018に出展	高岡テクノドーム
10月23日～	市町村長要望	11市町村
10月24日	第2回臨時理事会	富山県民会館
11月 2日	精度管理委員会	富山県民会館
11月 6日、7日	浄化槽管理士技術講習会 1日目:高岡会場 2日目:富山会場	1日目:高岡エコール 2日目:富山県総合情報センター
11月13日	中部支部環境出前講座	富山県中部厚生センター
11月15日、16日	東海北陸ブロック協議会研修会及び役員連絡会	サンフォルテ(富山市)
11月20日	富山県知事要望	富山県庁
11月21日、22日	全浄連北陸地区協議会各県会長会議	とやま自遊館(富山市)
11月28日	こども環境教室⑤	小矢部市立石動小学校
11月29日	青年部会視察研修会(講演及び四季防災館の見学等)	富山県内
12月 4日	新川支部環境出前講座	富山県新川厚生センター
12月12日	第1回正副会長会議	富山第一ホテル
12月12日	第2回ワーキンググループ会議	富山県民会館
12月19日	第5回青年部会幹事会	富山県民会館